

ガッツボンド *Fit* (フィット)

F☆☆☆☆0511015 NSK

ガッツボンド Fitとは、セメント系粉末をベースに高性能粉末ポリマーが配合されていますので、接着性、保水性、耐候性、耐熱性、耐水性等に優れています。

特長

- 一材型なので、現場での調合は水をいれるだけで簡単です。
- 高性能粉末ポリマーが多量に入っていますので、ALC、ブロックの様な吸水性が激しい下地の下地調整が出来、同じ材料でタイルを張る事ができます。
- 耐水性に優れているので、水廻りのタイル圧着に最適です。
- 水の入れ具合によって磁器質タイル、大型タイル、石材等が張れます。

適用下地

モルタル・コンクリート・ALC・ブロック等
(その他の下地の場合は他の商品で下地処理してください。)

施工方法

- ①下地の確認 下地処理の必要な箇所があれば、適切な下地処理を行い、下地を平滑に仕上げ、下地のほこり、油分、レイタンス、よごれ等を除去してください。
- ②練り方 水を混練り用の容器に必要水量入れてください。次にガッツボンド Fitを入れて、攪拌機にてダマのない様に攪拌してください。(混練りした材料は早い目に使用してください。)
- ③張り付け
 - 塗り厚はタイルや石材の大きさにあわせ約2~5mm厚に塗りつけてください。
 - 皮張り防止の為、1回の塗り作業は1~2㎡ぐらいにし、10分以内でタイルを張り付け出来るようにしてください。
 - くし目を立てたら素早く、くし目の山がつぶれるまで、もみ込む様に強く張ってください。(押さえ不足は剥離の原因になります)
 - 大型タイルや石材は改良圧着張りで張ってください。
 - 約2㎡ごとにタイルを1枚はがして、タイルの裏面にガッツボンド Fitが付着(70%以上)しているか確認してください。付着していない場合は塗り直してください。
- ④目地詰め タイルを張り付けたら、よく乾燥させ、目地詰めを行ってください。(目地材は用途によって市販のタイル用目地材を使用してください)

標準施工面積

用途	水量	施工面積	塗り厚
磁器質タイル施工	約5ℓ	約6.5㎡	約3~4mm厚
石材・大型タイル施工	約4.5ℓ~5ℓ	約5㎡	約4~5mm厚
下地調整用	約5ℓ~6ℓ	約17㎡~8㎡	約1~2mm厚



荷姿

20kg入り (三層紙袋ビニール入り)

色

灰色・白色

ガッツボンド Fitの性能試験

①モルタル物性

配合：粉体200／水50

項目	試験結果	試験方法・養生条件
フロー値(cm)	15.0	
軟度変化(%)	-0.7	
比重(g/m ³)	1.42	
保水性(%)	96.0	住都公タイルモルタル試験方法(濾紙法)
吸水率(%)	13.0	
透水率(5cc透過時間)	4時間20分	JIS A1171 (4×4×16cmを2日間水中浸漬)
長さ変化率(%)	0.23	
曲げ強さ(N/mm ²)	5.1	28日気乾養生後測定
圧縮強さ(N/mm ²)	12.5	28日気乾養生後測定

②接着強度測定結果

(1) 下地：モルタル

※水打ち⇒塗り付け⇒くし目5mm⇒オープンタイム10分でタイル張り付け14日間気乾養生

接着強度(N/mm ²)	破断状態(%)
0.87	下地破断

③凍結融解試験

下地：コンクリートレンガ

※水打ち⇒しごき塗り⇒塗り付け⇒くし目5mm⇒オープンタイム0分でタイル張り付け

14日間気乾養生後⇒50℃×3H⇒常温水中×2H⇒-20℃気中3H⇒常温水中×16Hを25サイクル繰り返し終了後7日間気乾養生後強度測定

接着強度(N/mm ²)	破断状態(%)
1.07	ガッツボンド Fitの凝集破断

取り扱い及び保管上の注意

- 気温が4℃を下回る場合の施工は避けてください。
- 炎天下の焼くつく様な下地への直接施工は避けてください。
- ガッツボンド Fitの保管は、湿気、凍結、高温のない場所で保管してください。
- 保存安定期間は、製造後約5ヶ月です。

応急処置

- 目に入った場合／清水で速やかに十分洗顔し、状況に応じて医師の診断を受ける。
 - 皮膚に付着した場合／直ぐに水で洗い流し、必要場合は医師の診断を受ける。
 - 吸入した場合／速やかに新鮮な空気のある場所に移し、水又は湯水でうがいさせ、医師の診断を受ける
 - 飲み込んだ場合／多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診断を受ける。
- ※尚、詳しくは、MSDS(製品安全データシート)をご参照下さい。



代理店

株式会社 竹屋化学研究所

〒577-0056 東大阪市長堂2丁目3番21号 布施駅前ビル4階

Tel.06-6781-1323(代) Fax.06-6782-7021

<http://www.takeyakagaku.com>